

ミニ・コンサート 河合優子
ショパン ワルツの夕べ

~~~~~プログラム~~~~~



J.S.バッハ  
2声のインヴェンションより

F.ショパン

|     |     |      |                    |
|-----|-----|------|--------------------|
| ワルツ | 第1番 | 変ホ長調 | 作品18               |
| ワルツ | 第2番 | 変イ長調 | 作品34-1             |
| ワルツ | 第3番 | イ短調  | 作品34-2             |
| ワルツ | 第4番 | へ長調  | 作品34-3             |
| ワルツ | 第5番 | 変イ長調 | 作品42               |
| ワルツ | 第6番 | 変ニ長調 | 作品64-1<br>『子犬のワルツ』 |
| ワルツ | 第7番 | 嬰ハ短調 | 作品64-2             |
| ワルツ | 第8番 | 変イ長調 | 作品64-3             |

~~~~~

やむをえない事情により、曲目が変更になる場合がございます

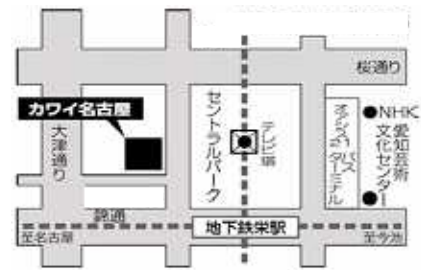
2009 **11/18** (水)
18:30-19:30

カワイ名古屋2F コンサートサロン ブーレ

一般 ¥2,500 / 学生 ¥2,000 / ペア券 ¥4,000

チケット取り扱い…カワイ名古屋プレイガイド

052-962-3939



地下鉄東山線・名城線「栄」駅、名鉄瀬戸線「栄町」駅下車。
地下鉄3番出口、もしくはセントラルパーク10A出口より徒歩1分

プロフィール 河合優子

ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科修了。1995年マリーエンエバート・ショパン国際ピアノコンクール(チェコ)第3位入賞。

愛知県岡崎市出身。5歳よりピアノを始める。名古屋市立菊里高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了。1990年に来日したヤン・エキエルに認められ、大学院修了と同時に渡欧、ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院に留学、1994年研究科修了。
1995年マリーエンエバート・ショパン国際ピアノコンクール(チェコ)第3位入賞。同年10月、第13回ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド・ワルシャワ)での批評記事(ヴァドモシチ・クルトワラルネ紙:ヤヌシュ・エキエルト「スターは消えてゆく」)およびポーランド・ラジオ第一放送の特別ルポルターージュ番組が大きな反響を呼び翌1996年2・3月の14回のポーランド全国リサイタル・ツアーをきっかけに演奏活動に入る。
各国オーケストラと協演、数多くの国際フェスティバルに招かれ放送出演も多数。「スラヴの魂を持つ日本人」(キエツカ紙)「ユウコ・カワイの演奏会は真の芸術的イベントであった」(クリエール・ピトフスキ紙)などの評を得る。1999年ベアルトン・レーベル(ポーランド)のナショナル・エディション・ディスク全集に東洋人として初参加、外国人演奏家シリーズ第1弾「レント・コン・グラン・エスプレッショネ」をリリースし各国で好評を得ている。同年10月、ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院主催ショパン没後150周年記念演奏会に出演、シリーズ最終日(ショパンの命日)には卒業生代表としてステージに立った。第1回・第2回ショパン国際ピアノコンクールin Asia審査員。百瀬雅恵、大堀敦子、ボト・レヘル、ヤン・エキエルの各氏に師事。